

経営のヒント218 「撫育」とい技術

林業に「撫育」とい技術があります。
言葉の通り撫でて育てる」
樹は人との関わりで大きくなるとい考え方です。

例えば、神社。

実際に人との関わりが多く、話しかけられたり撫でられたりする鳥居や本殿の傍らにある木は成長が早く、2~3割は大きくなるそうです。

人も同じ

撫でて育てるから人も成長する。

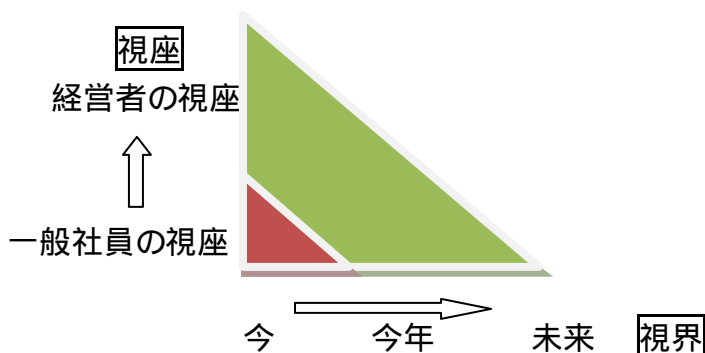
経営者や幹部にはこのことを理解していただければと思います。

しかし採用担当者の基準は「売れそうか」「笑顔がよいか」

つまり今を基準に採用を考えているのです。

しかし経営者や幹部は違います。

多少クセのある社員でも、その中に宿る可能性を磨いて唯一無二の人材にしたいと思うのが幹部の発想です。



ポイント= 視座 (より高い視点) を上げ、視界 (より長期的時間) を広げる！

参考著者「NEW プロジェクトの作り方」伊場正康

<経営のヒント>

私は神社の御神木に触るのが大好きです。
何か、命を感じるのですが、あなたはどうか？

見て上げるのが一番の教育」と言われます。
植物でも、動物でも人間が話しかけ、撫でさすってあげると喜んで成長が速まると言われます。
親は子供に何もしなくていいから、遠くから見ていてあげる事が重要です。
人は関係性の中で生きています。
育てるか、どうかは、その関係性をどうするか？
なんですね。

あなたはどうか感じましたか？
視座を高く、視界を広げるようにしましょう！